

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

平成20年 4月1日 NO.14

神石高原町父木野 2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

ついています。合併以来4年連続の右肩上がりの予算編成となっています。一般会計の当初予算是、97億1千万円で、前年対比1.8%の減となりますが、3億5千万円の繰上償還費を含んでいますので実質的には5%の減額予算です。

3月定例会は、4日から21日まで開かれ、平成20年度当初予算、各会計補正予算、神石高原町特別会計条例の一部を改正する条例など69議案と議員提出の意見書1件等70案件をそれぞれ原案のとおり可決・承認しました。

平成20年度

一般会計当初予算

井関団地調整池を予算化

整池整備工事に0万円、関連して第二重松線改良工事に8,500万円が予算化されました。

歳入面では、自主財源が21億2千万円で構成比率が昨年より9%の増となっていますが財政調整基金4億円・減債基金3億7,400万円など繰入金の増が要因です。井関地区の総合開発事業がスタートします。調査結果では、後期高齢者特別会計が新設され国民健康保険税も見直されました。一般会計と特別会計は別表の通りですが、総計は139億1,360万円(13.6%の減)となりました。

平成20年度特別会計当初予算	
国民健康保険特別会計	12億8,390万
内訳	
事業勘定	12億7,800万
診療施設勘定	590万
後期高齢者医療特別会計	3億0,000万
老人保健特別会計	2億5,100万
介護保険特別会計	16億3,450万
内訳	
保険事業勘定	16億1,600万
介護サービス事業勘定	1,850万
簡易水道事業特別会計	4億5,390万
飲料水供給施設事業特別会計	4,400万
農業集落排水事業特別会計	2億3,620万
分収育林事業特別会計	10万
計	42億0,360万

平成20年度一般会計歳入歳出当初予算

総額 97億1,000万円

	町 税	自主財源 (21.8%)	義務的経費 (52.5%)	人件費	歳 入		歳 出
					扶助費	公債費	
10.1%	9億8,467万円				18億7,545万円	19.3%	
0.5%	4,773万円	分担金及び負担金			1億1,304万円	1.2%	
1.7%	1億6,693万円	使用料及び手数料			9億7,879万円	10.1%	
0.2%	2,036万円	財産収入			10億9,183万円	11.2%	
8.4%	8億1,760万円	繰入金			1億1,304万円	1.2%	
0.9%	8,337万円	その他の収入			9億7,879万円	10.1%	
3.1%	3億0,270万円	地方譲与税			3万円	0.0%	
3.0%	2億9,370万円	各種交付金			12億7,521万円	13.1%	
53.2%	51億7,000万円	地方交付金			7,784万円	0.8%	
3.2%	3億1,314万円	依存財源 (78.2%)			10億4,913万円	10.8%	
7.7%	7億4,710万円	国庫支出金			160万円	0.0%	
7.9%	7億6,270万円	県支出金			5,687万円	0.6%	
		町 債(借金)			10億2,353万円	10.5%	
					4,000万円	0.4%	

20年度4月から

なにがどうなる

おもなもの

理事職が1名に・・・病院対策、プロジェクト担当に。
企画課調整係りが、企画定住係りに・・・定住対策、企業誘致を専門に。
油木情報センターが本庁企画課に・・・情報の収集などホームページ、広報の充実を。
教育委員会2課が1課に・・・・・・教育課（学校教育係、生涯学習係。）
教育委員会教育課に理事職配置・・・・中央公民館長を兼職。
公民館の分館が廃止される・・・4地区公民館体制に。（公民館職員は支所町民係へ配置。）
ふるさとふれあい事業の縮小・・・補助金が、3,200万円から2,000万円へ。
ふるさとふれあい事業へ敬老会開催経費を上乗せ・・・該当者へ1,000円。
町地域公共交通会議の発足・・・地域交通体系の見直し。
福祉タクシーが本格運行・・・担当課は福祉課に移動。
教養立町神石高原の提唱・・・読書週間の制定（年3回程度。）
水源の里維持再生事業の新設・・・限界集落は水源の里だ。アンケート調査、啓発など。
井関定住団地開発事業開始・・・調整池造成工事から。
和牛の里団地発足・・・油木広島牛改良センター跡地に。
後期高齢者特別会計の新設・・・制度の改正。
町民野球場（切田）のスコアボード運用開始。・・・芝生の移植も。
町内中学校にAED装置を設置・・・5年リース。
神石高原町消防団定数の変更・・・800人から760人へ。

平成19年度補正予算

一般会計で1億1,854万円、特別会計で4,018万円減額され、それぞれ100億865万円、66億5,426万円となつた。

ほとんどが、決算見込みによる増減です。

基金残高見込み

平成19年度末で

総合計で、37億2,340万円
(内、財政調整基金が13億5,700万円)

平成20年度末で

総合計で、29億4,500万円
(内、財政調整基金が9億6,400万円)

地方債（借金総額）残高見込

平成19年度末で

総合計で、228億6,800万円

平成20年度3月1日現在の人口1万1,671人で割ると195万9千円となります。

（平成20年度末で、209億6,500万円の見込みです。）

パソコンの管理は

木野山 サポート切れでパソコン5台の更新とあるが、単価は個人の所有か、セキュリティはどうか。

総務課長 単価は入札で決定。個人所有のものはない。

情報センターを中心としたウイルスチェック、ウイニー管理をセキュリティポリシーにて実施している。

「ミニユーティ施設管理経費が減額だが

木野山 一律10%程度の減額となっているが。

企画課長 電気代、清掃経費など節約をお願いする。

町内一体化イベン、ト今年はどりゆく

木野山 町内一体化イベントに226万円が予算化されているが今年の取組は。

企画課長 今年は豊松の順番で、まちづくり実行委員会と地元の実行委員会



とで協議していただいていい。巡回バス、紹介ポスター、ラジオ新聞などのPR、各種景品代、消耗品を予算化している。経費は抑える方針です。

敬老会の開催は

木野山 敬老会開催経費594万円を何故ふれあい事業予算から負担するのか。町の主催に統一して一般予算化すべきだ。

総務課長 平成20年度は、4地区敬老会対象者1,000円をふれあい予算に上乗せする。



限界もあり長続きしない。町の直営方式に統一しそうだ。消防団員は地域防災の要であり、町のある分野での実動隊でもあり活性化・元気の源である。町の考え。

消防団員の定数を確保せよ

木野山 消防団員は地域に調整する。

総務課長 努力してきたが、少子高齢化で現実的に団員の確保が困難になつてきた。経費面から団員定数で支出をするものもあるので経費節減の意味からも団員定数を760名にする。

木野山 消防団員であることは素晴らしい誇りの持てる職業だ。町を挙げて意識の高揚に努め、団員の減少に歯止めをかけ、800名を確保すべきだ。

保育所貸し材料は

木野山 保育所の食材調達はどうされているか。中国野菜・冷凍食品はないか。

木野山 消防団員であることは素晴らしい誇りの持てる職業だ。町を挙げて意識の高揚に努め、団員の減少に歯止めをかけ、800名を確保すべきだ。

木野山 本格運行となりました。試行運行で問題点は解決されたのか。

企画課長 利用者の数、利用方法など定まってきた。現状で対応出来ることが判明したので福祉課担当で本格運行とした。

木野山 ミニユーティ施設は指定管理者制度になじむのか。使用料は条例で決まっている。自治会にメリットはあるのか。経費の切り詰めで地元に負担ばかり押し付けるのでは。

福社課長 旧町村の伝統文化があり統一出来ていない。出来れば町の直営方式ではなく、いわゆる油木方式(実行委員会方式)での統一を考えている。

木野山 以前から、地産地消で安全で安心な食事に努めている。地元商工会や地元産品を利用し冷凍食品を直接仕入れ使用することはない。どの保育所も今回の事故に該当する中国冷凍食品は使用していないなかった。

木野山 町内一体化イベン、ト今年はどりゆく

企画課長 地域へ特化された利用を想定すると地元へお願いするのがベタ

総務課長 新定数は確保できない取組をしたい。

新年度予算の目玉は

卷之三

木野山 任期最後となる平成20年度予算を、広い視野をもって「泰然自若」の精神で全うしたいとの事ですが、新年度予算の「目玉は」何ですか。

町長 財政改革と町の将来の発展につながるもの一本立て。繰上償還と和牛の里、農業生産法人化、畜産、米、ぶどう、トマトの振興、広島の森づくりなど産業の振興。

制度・組織の見直しとは

木野山 予算大綱に「情勢の変化に対応できる町財政基盤を構築するために、制度・事業内容の見直し～」スマートな行政運営が図れる組織の見直し～」とあるが具体的には。

・教育委員会の課・係の統合
・公民館体制の検討など

木野山 事業の清算が逕
れるなどお役所仕事の域
をまだ出ていない。事務事
業の中身の見直しが必要
だ。

町長 制度の見直しは、補助制度の縮小・廃止など長年の経過で不透明なもの洗い直し。組織の見直しは、3つの過剰の課題を克服しスリムな体制をつくる。職員数の減による支所

副町長 木野山 是正はしこうは
が、まだ不十分な点もある。
問題点を整理し指導する。
省いた事務執行も必要だ。

木野山 分館の 自主防災組織の充実は

木野山 地域を守るために
「自主防災組織」への取り組みが成されているが今後の方針は。

の方への対応などには自治振興会 班単位での自主防災組織の救助活動が一番有効だ。全町組織化へ是

算となりました
たが、合併後4年
目にしてやつと、
新町の「夢」を託した新規
の事業が本格的にスター

実質的には、5.4%の減
となる緊縮予算となりまし
三、(二)、(三)

CATV事業を早急に

木野山 多くの効果をもたらす「CATV事業」への取り組みは、早急に町長の題があおり早

町長の政策判断の範疇だ。
早急に決断を。

れでしょことに感謝している。各種情報の提供、消防団、後援会との連絡調整研修会の開催など行政面から対応・支援する。

木野山 活動中の万一の
事故発生時の保障は、
総務課長 基本的には消
防防災保険対応となるが、
良く研究し対応する。

が、いずれも長町の言われる町の将来の発展につながる事業だと思います。

12月一般質問でも坦率に質問しましたが、ケーブルテレビ事業への取り組みを今後の町の命運を賭ける事業だと思います。

県病院とCATV。異なる二つの案件ですが、どちらも将来の町にとって無くては成らぬもの。町長にて、間違いの無い選択を、期待しています。